

令和元年度 学長戦略経費（公募型プロジェクト）研究成果概要報告書

経費の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 共同研究推進 <input type="checkbox"/> 若手教員研究支援 <input type="checkbox"/> 個人研究支援 <input type="checkbox"/> 研究推進重点設備 <input type="checkbox"/> 研究推進設備修繕
プロジェクトの名称	教職大学院・教育委員会・附属学校との多重連携による職能機能強化のマネジメントのあり方 ～「個人の力量形成」と「チームの学び」(Ed.D.型の博士課程)づくりを共に支える手法の追究～
報告者氏名・所属・職名	北海道教育大学教職大学院函館校 特任教授 中村吉秀
プロジェクト担当者氏名・所属・職名	北海道教育大学教職大学院札幌校 教授 井門 正美 北海道教育大学教職大学院函館校 教授 橋本忠和 北海道教育大学函館校 准教授 山口好和 北海道教育大学教職大学院函館校 特任教授 三上清和 北海道教育大学教職大学院函館校 特任教授 小松一保 北海道教育大学教職大学院函館校 臨床教授 小田将之 北海道教育大学教職大学院函館校 准教授 阿部二郎 北海道教育大学教職大学院函館校 准教授 杉本任士 北海道教育大学函館校 准教授 石井 洋
研究内容及び成果の概要	
<p>教職大学院・教育委員会・附属学校との多重連携による職能機能強化のマネジメントのあり方を見出すために、多様な学びの場を整理した。そして、地域の学校教員の実践をさらに昇華させる機能としての「Ed. D. 型の博士課程」構想づくりをスタートさせる。</p> <p>成果としてとは下記に3つ示す。</p> <p>①教職大学院での学びの中心となる「理論知と実践知」の往還的な関係を具体的に実現するため、学びのプロセスに「実直な語り（ナラティブ・アプローチ）」と「省察（振り返り）」を取り入れて、学びの変容と深化の実態を具体的に把握した。【教職大学院の双方向における授業づくりと振り返りの活用】【西高等学校との連携による探究の授業づくり（附属小・附属中・地域教育・教職大学院と西高等学校との連携による）】</p> <p>②近隣の教員が集う「対話スペース」（後述）を準備することで、「協働的な研究体制」「カリキュラムマネジメント」等の概念を、個別・具体的な地域課題と適切に結びつけながら議論できる環境を整えつつ、協働探究的なコミュニティを組織し、活動を継続した。【函館市中学校校長を対象とした研修会「学びのコミュニティづくり」の推進 実施日：5月31日 7月19日 9月6日 10月25日 12月6日 1月31日】【教大協研究集会第2分科会「大学院段階での教員養成」での発表】【「小・中学校教育課程研究協議会」で函館市教育委員会とのタイアップ研修の実施】【第25回函館教育学会年會を1月12日に実施】</p> <p>③教職大学院の学びを確かなものとし職能を強化するために、「Ed. D. 型の博士課程」の創意・工夫された構想づくりを始める。つまり、各大学の博士課程の知見を積み重ね、「理論知と実践知」を架橋する学びの構築を試みる。【愛知教育大学・兵庫教育大学への視察・発表】【「Ed. D. 型の博士課程」づくりを支えるために 蛇穴学長を招き双方向による研修会を教職大学院として実施】</p> <p>このような研究の推進は、授業改善を展開させる。さらに、多様な研修等の設置は、私たち教職大学院の教員の力量アップにもなる。そして、多重的な連携の継続化は、「信頼関係」を醸成させる契機にもなる。また、教職大学院が中心となって、地域行政や附属学校をつなげ、職能機能を強化する研修を提案し続けることは、地域教育の向上を促し、子供たちの資質能力の育成につながっていく。</p>	
成果の公表の状況	
<p>【著書】</p> <p>【学術論文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中村吉秀 山口好和 藤島尚子 石黒勝 岡田敏嗣 石崎洋志 渡邊大地『地域と校内でともに支え合う「探究」カリキュラム ―函館西高校の「探究 学びかたをつくる」の挑戦―』北海道教育大学大学院高度教職実践専攻研究紀要 第10号 2020年2月 pp59～69 ・中村吉秀 山口好和 『学校での実践的課題解決に対応した教職大学院のカリキュラム構成手法 ―管理職を対象とした自主学習会での学び合いをてがかりにして―』令和元年 日本教育大学協会研究集会発表概要集 令和元年10月5日 pp70～71 	

教育現場で活用可能な分野・教材等	
配布又はダウンロード可能な資料	
問合わせ先	代表者：中村吉秀 電 話：0138-44-4318 FAX 　： mail 　：nakamura.yoshihide@h.hokkyodai.ac.jp